

理数科模擬講義

平成29年7月6日(木)

講師 東北大学 電気通信研究所 准教授 栗木 一郎 先生

演題 「脳」について語ってみよう！！

～視覚から脳機能へのアプローチ～



7月6日(木)、東北大学より、栗木一郎准教授をお招きして、2年理数科と3年生の希望者を対象に「東北大模擬講義」を実施しました。

栗木一郎先生は、我々が普段見ている視野はどのような情報処理によって得られているのかを、視覚情報処理の大半が行われている脳に着目して研究しています。この模擬講義では、「脳」についてわかりやすく、熱意を込めて語っていただきました。

特に、錯視の生じるメカニズムや、脳波を検知して動く車いすに興味を持った生徒が多かったようです。最後の質疑応答の時間は、質問がつかることなく、充実した意見交換をすることができました。科学への探究心を触発され、今後の進路へのモチベーションとなる、とても有意義で楽しい時間でした。

生徒の感想より

- *自分は情報工学の道に進みたいと思っているが、情報工学から脳科学に踏み込んでいくようなチャレンジができると知って驚きました。
- *思わぬところで今習っているベクトルや微積分などが出てくるのを見て、今の自分の力を含め、将来の社会のために自分たちにはできること、やるべきことがまだまだたくさんあると分かりました。
- *錯視の話が興味深かった。動いていないはずのものが動いて見えるのは脳による現象だというのが意外だった。(ずっと気のせいだと思っていた)
- *ブレインマシーンインターフェースに興味を持った。人間の脳波に反応して機械が動くのであれば、障害を持つ人でも自由に動き回ることができるかもしれないと思い、将来が楽しみだと思った。
- *研究の面白さを知った。
- *東北大学について詳しく知ることができ、参考になった。